

格差社会で苦しむ人々に対する Shift-Persist Strategy の有効性についての検討

李受珉 ・ 中島健一郎
(広島大学教育学部) (広島大学大学院教育学研究科)

問題

先行研究では「Shift-Persist Strategy」を身につけている人々は、たとえ SES が低くても社会経済的地位が高い環境で育った人々と同じ水準の環境適応を示すことが明らかにされている (Chen & Miller, 2012; Chen et al., 2015)。

以上の点を踏まえ、本研究の目的は、格差社会で苦しむ人々に対する Shift-Persist Strategy の有効性について明らかにすることである。そのために、まず研究①において、身体的反応以外の恩恵、たとえば自尊感情や抑うつ傾向といった心理的指標に関して検討する。次に研究②では、低 SES 者の対人関係に Shift-Persist Strategy がどのような影響を及ぼすのかについて探索的な検討を試みる。

研究①

方法 女子大学生 97 名を対象に、質問紙調査を実施した。質問紙では、抑うつ傾向(鈴木他, 1974)、特性自尊心尺度(山本他, 1982)、幼少期の主観的 SES、階層意識と現在の家庭の平均収入(Nakashima & Yanagisawa, 2015)、Shift-Persist Strategy の日本語版(Chen & Millar (2015)より邦訳版を作成)の計 5 つの尺度から構成されていた。

結果 まず、低 SES や高 SES の人における Shifting、Persisting と自尊心の関連について分析した (Figure 1, Figure 2)。まず、SES 合成得点(主観的 SES・階層意識・平均収入より作成)、Persisting 得点、Shifting 得点を説明変数、自尊心得点を目的変数とする階層的重回帰分析を行った結果、3 要因交互作用が有意であった ($b = -0.78, t(56) = -2.49, p = .02$)。低 SES において、Persisting 得点と Shifting 得点が高いほど自尊心得点が高いことが示されたのに対して、高 SES ではそのような関連は認められなかった。

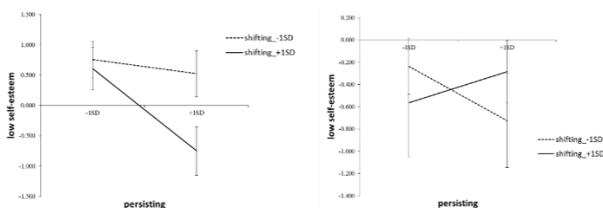


Figure 1. 低、高 SES における Persisting 得点と自尊感情との関連

また、参加者の抑うつ傾向の重回帰分析を行った

ところ、SES 得点と Persisting 尺度得点の間に有意な主効果がみられた ($b = -0.30, t(60) = -2.20, p = .03$)。Persisting 得点の高さと抑うつ傾向とは負の相関がみられた。しかし、Shifting 得点との間には関連がみられなかった。

研究②

方法 Time1 には女子大学生 107 名を対象に、Time2 には女子大学生 99 名を対象に質問紙調査を実施した。質問紙では、友人数、対人摩耗(橋本, 2005)、関係満足度、SES、Shift-Persist Strategy の 5 つで構成されていた。同じ質問紙を 4 月と 7 月に 2 回に分けて測定した。

結果 Table 1 には各尺度得点の基礎統計量を記載している。SES 合成得点(主観的 SES・階層意識・平均収入より作成)、Persisting 得点、Shifting 得点を説明変数、対人関係を目的変数とする重回帰分析を行った結果、すべての尺度において、Shift-Persist Strategy の有意な効果は認められなかった。

変数名	Time1		Time2	
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
友人数	7.10	4.15	8.16	5.18
対人満足度	6.20	0.97	6.38	0.89
対人摩耗	3.00	1.01	3.37	1.04
Shi_m	-	-	2.58	0.63
Per_m	-	-	2.95	0.52
SES_m	-	-	4.46	1.22

Table 1. 各尺度の平均値と標準偏差

考察

研究①では、低 SES 者においても、Shift-Persist Strategy を持っている人は、高 SES 者と同様に、自尊心が高くなることが分かった。また、抑うつ傾向に関しては、Persisting の得点のみ主効果がみられた。研究②では、低 SES 者の対人関係における Shift-Persist Strategy の影響について検討した。しかし、すべての対人関係の尺度において、Shift-Persist Strategy の効果はみられなかった。対人関係においては、Shift-Persist Strategy の恩恵があるとは言えないと考えられる。

以上の点を踏まえて、Shift-Persist Strategy は心理的指標や生理的指標においては有効であるが、友人関係に関する指標においては有効でないと考えられる。